

社会課題と企業課題の両方を同時に解決することを目的としたサステナビリティ経営を推進すべく、2021年9月より「コジマSDGsプロジェクト」を始動。2022年4月に「コジマのSDGs宣言」を公表するとともに「コジマの6つのマテリアリティ」を特定しました。特集では、そのプロセスとマテリアリティの概要を紹介いたします。

プロジェクトの目的

「くらし応援」の幅を環境や社会との関係性に広げて、コジマ流のサステナビリティ経営を推進していきます。

従業員とご家族

創業以来、家電製品の販売を通じて豊かなくらしを支えてきた様々な取り組みを、グローバル共通の課題・言語であるSDGsの視点で、事業を通じた社会課題の解決、社会への価値創造から整理し、再認識することで、従業員のモチベーションの向上、従業員・ご家族との共感醸成に繋げるとともに、社会に新たな価値を創出する商品・サービスの開発に努めます。

お客様と地域

お客様・地域社会とのより良い関係づくりに向けコミュニケーションをとり、地域における「くらし応援」のパートナーとして信頼や愛着を持っていただけるように努めます。

投資家の皆様と地球環境

社会や環境への貢献、リスクマネジメントを踏まえて自社の長期的な成長ストーリーを描き、継続的に評価と改善を行っていくことで、環境負荷の軽減並びに、投資家の皆様からのご支持をいただけるよう努めます。

マテリアリティの特定プロセス

コジマが本業を通じてSDGsに取り組むことで、事業に創造性とイノベーションをもたらし、かつ地域の持続可能性に貢献して、真に豊かな社会・地球環境を実現するために、取り組むべきマテリアリティを下記の手順で特定しました。



プロジェクト推進チームを結成

社長自らがプロジェクトリーダーとなり、2021年8月に店舗や本部の各部門から年齢・役職・担当業務・性別などの異なる多様なメンバーを指名し、総勢16名のプロジェクト推進チームを結成しました。各部門からの指名に際しては、「多様な視点」と「人材の育成」の観点で20代の若手社員も抜擢されました。



ワークショップを通じてマテリアリティを特定

2021年10月から11月にかけて、プロジェクト推進チームによる全3回のワークショップを実施し、社会・環境課題の整理とマテリアリティの特定を行いました。

●第1回ワークショップ

- 【テーマ】過去～現在視点で、SDGsに関する取り組みを整理
- 【重要な視点】創業精神、企業文化
- 【抽出される事項】SDGs視点で、コジマが大切にしてきた価値観



●第2回ワークショップ

- 【テーマ】将来視点で、環境面における課題と今後の方針
- 【重要な視点】社会要請と自社のリスクと機会
- 【抽出される事項】環境面における優先課題(169ターゲットから抽出)



●第3回ワークショップ

- 【テーマ】将来視点で、社会面における課題と今後の方針
- 【重要な視点】社会要請と自社のリスクと機会、「あたらしい日常」
- 【抽出される事項】社会面における優先課題(169ターゲットから抽出)

社会・環境面を統合した優先課題を選出

優先課題をコジマの言葉で表現したSDGs宣言を策定

いろいろな立場の人たちが参加して、
みらいの社会と環境について、
コジマがどんなふうに関与しているのか
役に立っているのか
話し合いました。



有識者とのダイアログで 特定したマテリアリティを検証

広く社会の声を反映させるべく、ジャパンSDGsアワード審査員を務めたご経験のある一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク共同代表理事の三輪敦子様より、特定したマテリアリティに対する評価とアドバイスをいただきました(2022年1月24日)。

専門家の方から
いただいたアドバイスは、
SDGs宣言と
マテリアリティに
活かされています。



ダイアログの内容

- ①これまでの活動プロセスに関する評価
- ②まとめてきたマテリアリティに関するアドバイス
- ③マテリアリティ特定後の取り組みへのアドバイス



ESGそしてSDGsへの具体的な貢献を期待しています

今回の対話では、これまでの事業の枠組を越えて、蓄電池などエネルギー事業にも注力されるという方針をうかがい、気候危機への具体的な貢献という観点からも大変励まされました。地域社会のサステナビリティに貢献するサステナブル経営を、外部にも明確に発信しつつ進めていただければと思います。そして、女性、障がい者、外国籍住民の皆さんとともに事業を発展させてください。皆さんが、接客を通じて地域に、特に高齢者の方々に寄り添いつつ事業に取り組まれることが、ESGそしてSDGsへの具体的な貢献に結びつくと感じています。皆さんの取り組みとご発展に心から期待しています。



三輪様(前列中央)とプロジェクト推進チームの主なメンバー



三輪 敦子様

一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク(SDGsジャパン)共同代表理事
一般財団法人アジア・太平洋人権情報センター(ヒューライツ大阪)所長
日本政府が2016年に設置したSDGs推進円卓会議メンバー(市民社会代表)ジャパンSDGsアワード審査員

三輪様からの提言ポイント

1. ここまでのプロセスは非常に評価できる
2. 家電を軸にした新たな価値づくりへ向かう方針はもっと打ち出すべき
3. 「売る」ことだけではなく、「なぜ売るのか」をしっかりと表現していくべき
4. 「地域密着」という強みを更に活かすべき
5. 「多様性」について、女性、障がい者、外国人も含めて進んでいる施策については引き続き力を注いでほしい
6. そのためにもまずは社員が人権・環境・社会に役立つといった意識を向上させることが大切
7. 目標設定をしっかり行い、期限を決めて、振り返りをしていく。ただし堅く考えず皆で考え、必要であれば修正しながら進めてほしい

「サステナビリティ推進委員会」を新設し、TCFD提言への賛同を表明

2022年8月、取締役会の諮問委員会として代表取締役社長を委員長とする「サステナビリティ推進委員会」を新設するとともに、気候変動問題がもたらすリスク等の把握やその対策に取り組むことを宣言するため、「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」提言への賛同を表明しました。また、気候変動の課題に対しての各企業

の取り組みや戦略を評価する国際的な非営利団体CDP(本部:英国ロンドン)に気候変動質問書の回答を提出し、マネジメントレベルである「B-」の評価を取得しました。当社ではこれらの活動を通じて、ステークホルダーとの建設的な対話を進め、更なる企業価値の向上を目指すとともに、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



コジマのSDGs宣言

私たち「暮らし応援コジマ」は
家電を通じて地域社会の持続的な発展を応援し
笑顔あふれる明るく暖かいみらいをつくります



このメッセージは、コジマがこれまでに大切にしてきた「明るさと暖かさをお届けする」という思いと、「暮らし応援コジマ」という会社のメッセージを、これからはずっと伝えていきたいという思いを込めて作りしました。地域のくらしや環境を大切に、みなさんと一緒にコジマは成長していきます

コジマの6つのマテリアリティ

家電や地域のみらいを応援するために、コジマは6つのマテリアリティ(優先課題)を特定し、具体的な取り組みについて策定を進めています

<h3>みらい家電応援</h3> <p>環境や、人に優しい 家電の普及促進⇒P16</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 節電商品の普及促進 ● 節水に繋がる商品の普及促進 ● ライフスタイル、ライフサイクルに合った家電の紹介 	<h3>リサイクル応援</h3> <p>循環型社会を目指した 資源活用・再利用の推進⇒P18</p> <ul style="list-style-type: none"> ● リデュース ● リユース ● リサイクル ● 廃棄物排出量の削減 	<h3>みらい応援店舗</h3> <p>環境にも人にも優しく、 くらしのお役に立つ店舗の実現⇒P19</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 節電営業の取り組み ● 再生可能エネルギーの活用 ● CO2排出量の削減 ● 店舗設備の充実
<h3>みんなのまち応援</h3> <p>楽しく暮らしやすく活気あふれる 地域社会づくりに貢献⇒P20</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域の活性化に繋がる活動の促進 ● 地域課題の解決 ● 地域スポーツ振興 ● 包括連携協定の締結 	<h3>子ども応援</h3> <p>未来を担う子どもたちの 様々なチャレンジを支援⇒P22</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スポーツを通じた学びの場の提供 ● 思考力を育む学びの場の提供 ● 仕事を学ぶ機会の拡大 	<h3>働くなかま応援</h3> <p>様々なメンバーがいぎいきと動ける 環境の整備⇒P24</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 健康経営の推進 ● 教育制度の充実 ● 働きやすい環境・制度の整備 ● 女性活躍の推進